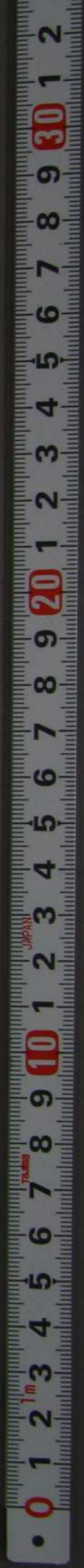


刑法草案審査局

刑法修正案
全

1275



114
A 2034

刑法修正案

第壹篇

刑法修正案

刑法修正案



編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト
為ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所為ト雖
モ之ヲ罰スルヲ得ス

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ハス
ヲ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決ヲ經サル

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス

第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ論ス可キ者ニ施用スルヲ得ス

第五條 此刑法ニ正條十クシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ

若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサル者ハ此刑法ノ總則ニ從フ

第二章 刑例

第一節 刑名

第六條 刑ノ主刑及ヒ附加刑ト為ス

主刑ハ之ヲ宣告ス

附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告モサル者トヲ定ム

第七條 左ニ記載シタル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト為ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四無期徒刑

五有期徒刑

六重懲役

七輕懲役

八重禁獄

九輕禁獄

第八條 左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト為ス

一 重禁錮

二 輕禁錮

三 罰金

第九條 左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪ノ主

刑ト為ス

一 拘留

二 科料

第十條 左ニ記載シタル者ヲ以テ附加刑ト為

ス

一 剥奪公權

二 停止公權

三 禁治產

四 監視

五 罰金

六 沒收

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方

法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二節 主刑處分

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ

官吏臨檢シ獄内ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非サレ

ハ之ヲ行フヲ得ス

第十四條 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フヲ

禁ス

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懷胎ナル

時ハ其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非

サレハ刑ヲ行ハス

第十六條 死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サス

第十七條 徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ニ發遣シ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第十八條 徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セス内地ノ懲役場ニ於テ定役ニ服ス

第十九條 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定役ヲ免シ其體力相當ノ定役ニ服ス

第二十條 流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄ニ幽閉シ定役ニ服セス

有期流刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限り居住セシムルヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入ル定役ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ

從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以下ト為ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス

重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以下為ス

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ

定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ分タス十一日以上五年以下ト

為シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十五條

定役ニ服スル囚人ノ貸錢ハ^{監獄ノ}幾分テ

ハ^規囚人ニ給與ス但現役百日以内ハ給與ノ限

ニ在ラス

第二十六條 罰金ハ二圓以上ト為シ仍ホ各本

條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内

ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ一圓

ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ

滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス

檢事ノ求ニ因リ裁判官之ヲ命ス

若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過シ

タル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス但親屬其他

ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服

セス其刑期ハ一日以上十日以下ト為シ仍ホ

各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十九條 料料ハ五錢以上一圓九十五錢以

下ト為シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條 料料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ

納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十

刑罰法

七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換フ

第三節 附加刑處分

第三十一條 剥奪公權ハ左ノ權ヲ剥奪ス

一 國民ノ特權

二 官吏ト為ルノ權

三 勲章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四 外國ノ勲章ヲ佩用スルノ權

五 兵籍ニ入ルノ權

六 裁判所ニ於テ證人ト為ルノ權但單ニ事實

ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

七 後見人ト為ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子

孫ノ為メニスルハ此限ニ在ラス

八 分散者ノ管財人ト為リ又ハ會社及ヒ共有

財産ヲ管理スルノ權

九 學校長及ヒ教師學監ト為ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ剥奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣

告ヲ用ヒス現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間

公權ヲ行フヲ停止ス

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル

者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス監視ノ期限間公權ヲ

行フヲ停止ス

主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル者ハ別

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ親カラ財

産ヲ治ムルヲ禁ス但其財産ハ後見人ヲシテ之ヲ管理セシム

第三十六條 流刑ノ因幽閉ヲ免セラレタル時ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス各本刑ノ短期三分ノ一ニ等シキ時間監視ニ付ス

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得ス

第三十九條 死刑及ヒ無期徒刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間監視ニ

付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ其捕ニ就キタル日ヨリ起算ス若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヲ得

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ納完セサル時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿限ノ後之ヲ執行ス

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ

官ニ没收ス但法律規則ニ於テ別ニ没收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ

一法律ニ於テ禁制シタル物件

二犯罪ノ用ニ供シタル物件

三犯罪ニ因テ得タル物件

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ没收ス犯罪ノ用ニ供シ及ビ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主十キ時ノ外之ヲ没收スルヲ得ス

第四節 徵償處分

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ

以テ之ヲ定ム

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラルト雖モ被害者ノ請求ニ對シ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免カル、ヲ得ス

第四十七條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セシム

第四十八條 裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ被害者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ民事ノ定規ニ從ヒ之ヲ審判スルヲ得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ此ノ所有主ニ還付ス

第五節 刑期計算

第四十九條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ
受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放免ノ日ハ刑期ニ算入セス

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非ハレハ之ヲ執行スルヲ得ス

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上告ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ從フ

- 一 犯人自ラ上告シテ破毀ヲ得タル者ハ前判宣告ノ日ヨリ起算ス若シ其上告不當ナル時ハ後判宣告ノ日ヨリ起算ス
- 二 檢事ノ上告ニ係ル者ハ其破毀ヲ得ルト否

トヲ分タス前判宣告ノ日ヨリ起算ス

三 上告中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ其日數ヲ刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十二條 刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就キタル者ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

第六節 假出獄

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ謹守シ悔改ノ状アル時ハ其刑期四分ノミヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假出獄ヲ許スヲ得

無期徒刑ニ處セラレタル者十五年ヲ經過スルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スル
ノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サルノト
雖モ仍ホ島地ニ居住セシム

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ
處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得
但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス

第五十六條 假出獄中更ニ重禁輕罪ヲ犯シタ
ル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ
刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十七條 刑期限内更ニ重罪輕罪ヲ犯シタ
ル者ハ假出獄ヲ許サス

第七節 期滿免除

第五十八條 刑ノ執行ヲ遁レタル者法律ニ定

メタル期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除ヲ得
第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除
ヲ得

一 死刑ハ三十年

二 無期徒刑ハ二十五年

三 有期徒刑ハ二十年

四 重懲役重禁獄ハ十五年

五 輕懲役輕禁獄ハ十年

六 禁錮罰金ハ七年

七 拘留料料ハ一年

第六十條 剥奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿
免除ヲ得ス

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得
沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ
期滿免除ノ限ニ在ラス

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル
日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル
時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ關席裁判ニ係ル
時ハ宣告ノ日ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮
捕ヲ命シタル時ハ最終ノ捕縛狀ヲ出シタル
日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

第八節 復權

第六十三條 公權ヲ剝奪セラレタル者ハ主刑
ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情

狀ニ因リ將來ノ公權ヲ復スルヲ得

主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタ
ル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後亦同シ

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直
ニ復權ヲ得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ

赦狀中記載スルニ非サレハ復權ヲ得ス
赦ニ因テ復權ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シ
タル者トス

第六十五條 復權ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可
カラス

第三章 加減例

第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ
時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減

又但加ヘテ死刑ニ入ルヲ得ス

第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一 死刑

二 無期徒刑

三 有期徒刑

四 重懲役

五 輕懲役

第六十八條 國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一 死刑

二 無期徒刑

三 有期徒刑

四 重禁獄

五 輕禁獄

第六十九條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ

二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト為ス

輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト為ス

第七十條 禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ

減スルヲ以テ一等ト為シ其加重ス可キ時ハ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト為ス

輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ七年ニ至ルヲ得

第七十一條 禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減シテ其短期十日以下寡數一圓九十五錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルヲ得

第七十二條 拘留科料ニ該ル者加減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト為ス
違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ス但拘留ハ加ヘテ十二日ニ至ルヲ得減シテ一日以下ニ降スヲ得ス科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下ニ降スヲ得ス

第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ生シ一日ニ滿サル時ハ之ヲ除棄ス

第七十四條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト為ス若シ減盡シタル時ハ止メ主刑ヲ科ス

第四章 不論罪及ヒ減輕

第一節 不論罪及ヒ宥恕減輕

第七十五條 抗拒ス可カラサル強制ニ遇ヒ其意ニ非サルノ所為ハ其罪ヲ論セス
天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラサル危難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身軀ヲ防衛スルニ出タル所為亦同シ

第七十六條 本属長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ以テ為シタル者ハ其罪ヲ論セス

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所為ハ其罪ヲ論セス但法律ニ於テ別ニ疎虞懈怠ノ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス

罪ト為ル可キ事實ヲ知ラスシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス

罪本重カル可クシテ犯ス時知ラサル者ハ其重キニ從テ論スルヲ得ス

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト為スヲ得ス

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セサル者ハ其罪ヲ論セス

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ論セス但滿八歳以上ノ者ハ情状ニ因

リ滿十六歳ニ過キササル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所為是非ヲ辨別シタルト否トヲ審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情状ニ因リ滿二十歳ニ過キササル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ

減

第八十二條 瘖啞者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情状ニ因リ五年ニ過ギサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十三條 違警罪ハ滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ト雖モ其罪ヲ宥恕スルヲ得ス
滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス十二歳ニ滿サル者及ヒ瘖啞者ハ其罪ヲ論セス

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不論罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ

於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス但謀殺故殺ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタル時ハ自首減等ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト雖モ半數以上ヲ還償シタル時ハ一等ヲ減ス

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節 酌量減輕

第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分タス所犯情

狀原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スル
ヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者
ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スル
ヲ得

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又
ハ二等ヲ減ス

第五章 再犯加重

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者
再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十二條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタ
ル者再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル

者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ
但一年内再ヒ其違警罪裁判所ノ管轄内ニ於
テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スル
ヲ得ス

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後
ニ非サレハ之ヲ論スルヲ得ス

第九十五條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑
ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者
ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初
犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共
ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ
者ニ執行ス

其罰金料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラス各自
ニ之ヲ徴収ス

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タ
ル者再ヒ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ罪
常律ニ從ヒ處断シタル者ニ非サレハ再犯ヲ
以テ論スルヲ得ス

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再
ヒ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルヲ得
ス

第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法
ハ再犯ノ例ニ同シ

第六章 加減順序

第九十九條 犯罪ノ情状ニ因リ総則ニ照シ同

時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ
從テ其刑各ヲ定ム但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減
等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ
其加減シタル者ヲ以テ本刑ト為ス

- 一 再犯加重
- 二 宥恕減輕
- 三 自首減輕
- 四 酌量減輕

第七章 數罪俱發

第百條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪
以上俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從テ處断
ス

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト為シ刑

期々等キ者ハ定役アル者ヲ以テ重ト為ス
輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷
ス

第百一條 違警罪ニ罪以上俱ニ發スル時ハ各
自ニ其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發
シタル時ハ一ノ重キニ從フ

第百二條 一罪前ニ發シ己ニ判決ヲ經テ餘罪
後ニ發シ其輕ク若クハ等キ者ハ之ヲ論セス
其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後
發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金科料ニ該リ
己ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ
折算シテ後發ノ刑期ニ通算ス若シ前發ノ罪
ヲ判決スル時未タ發セサル罪再犯ノ罪ト俱

ニ發シタル者ハ其再犯ト比較シ一ノ重キニ
從ヒ前發ノ刑ヲ通算セス

第百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト
雖モ其沒收及ヒ微償ノ處分ハ各本法ニ從フ

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆
正犯ト為シ各自ニ其刑ヲ科ス

第百五條 詐欺脅迫贈與締約威權其他故意ヲ
以テ人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル
者亦正犯ト為ス

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス
可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ホス

了り得ス

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト為ス了り得ス

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ヲ處断ス

一 所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止夕其指定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス

二 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

第二節 從犯

第百九條 重罪輕罪ヲ犯ス了り知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所為ヲ以テ

正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト為シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス但正犯現ニ行フ所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ止夕其知ル所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ス

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯ト為ル時ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ從犯ノ刑ハ其輕キニ從テ減免スル了り得ス

第九章 未遂犯罪

第百十一條 罪ヲ犯サン了り謀リ又ハ其豫備ヲ為スト雖モ未夕其事ヲ行ハサル者ハ本條

別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ
ス

第百十二條 罪ヲ犯サントシテ己ニ其事ヲ行
フト雖モ犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ
未タ遂ケサル時ハ己ニ遂ケタル者ノ刑ニ一
等又ハ二等ヲ減ス

第百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサ
ル者ハ前條ノ例ニ照シテ處断ス

輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條
別ニ記載スルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ
處断スルヲ得ス
違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其
罪ヲ論セス

第十章 親屬例

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左

ニ記載シタル者ヲ云フ

一 祖父母父母夫妻

二 子孫及ヒ其配偶者

三 兄弟姉妹及ヒ其配偶者

四 兄弟姉妹ノ子及ヒ其配偶者

五 父母ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者

六 父母ノ兄弟姉妹ノ子

七 配偶者ノ祖父母父母

八 配偶者ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者

九 配偶者ノ兄弟姉妹ノ子

十 配偶者ノ父母ノ兄弟姉妹

刑部省 法律局

第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外

祖父母同シ父母ト稱スルハ繼父母嫡母同シ

孫ト稱スルハ曾玄孫外孫同シ兄弟姉妹ト稱

スルハ異父異母ノ兄弟姉妹同シ

養子其養家ニ於ル親屬ノ例ニ實子ニ同シ

川去草茶番堂

刑法修正案

第二編

刑法修正案

刑法修正案

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

第百十六條 天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

第百十七條 天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

山陵ニ對シ不敬ノ所為アル者亦同シ

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第二章 國事ニ關スル罪

第一節 内亂ニ關スル罪

第百二十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス
二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

三 兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

四 教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

第百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

第二百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

第二百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備ヲ為シタル者ハ第一百二十一條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス
内亂ノ陰謀ヲ為シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

第二百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

第二百二十七條 内亂ノ前後ニ於テ情ヲ知テ犯人ニ聚會所ヲ給與シ又ハ犯人ヲ藏匿シ若クハ

隠避セシメタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス但犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第二百二十八條 内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス
第二節 外患ニ關スル罪

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戦中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス
第三百十條 交戦中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地

家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百十一條 本國及同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス

敵國ノ間諜ヲ内地ニ誘導シ又ハ之ヲ藏匿シタル者亦同シ

第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ為ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遣ヲ收受シテ故サラニ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

第三百十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

第三百十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

第三百十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀

リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附和隨行シタル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ為シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百三十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下

シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス

首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者ハ同刑ニ處ス

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第一百三十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ為ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

第一百四十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ

刑罰部 審判局

加へ重キニ從テ處斷ス

第四百十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第四百十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ為シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁

錮ニ處ス但無期徒刑ノ囚徒此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ獄則ニ從テ處分ス

第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

第四百十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第四百十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第四百十二條ノ例ニ照シ各一等ノ加フ

第四百十六條 囚徒ヲ逃走セシムル為ノ兇器

刑部省 監獄司

其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス
第四百十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ニ通謀シ若クハ故意ヲ以テ逃走セシメタル時ハ亦前條ノ例ニ同シ

第四百十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルコトヲ知テ故サラニ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ハ十日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時
ハ一等ヲ加フ

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメシムルヲ

圖リ其罪証ト為ル可キ物件ヲ隠蔽シタル者

ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓

以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者若シ

犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 附加刑ノ執行ヲ通ルノ罪

第百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ

停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ

一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則

ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重

禁錮ニ處ス

第百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ

犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルコトヲ

得ス

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ

及ヒ所有スル罪

第百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得ス

シテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂

質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以

下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ

罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上
一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下
ノ罰金ヲ附加ス

第百五十八條 前條ノ罪ニ關スルト雖モ職工
又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル
者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未
タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷
ス

第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品
ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下
ノ罰金ニ處ス

第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物

品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ
供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收
ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

第百六十二條 故意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠
ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上
二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以
下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨
害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同
シ

第百六十四條 故意ヲ以テ電信ノ器械柱木ヲ
損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致

シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處
シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ
為スト雖モ不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

第百六十五條 瀛車ノ往來ヲ妨害スル為メ鐵
道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ

為シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル為メ燈
臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損

壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前
條ニ同シ

第百六十七條 前數條ニ記載シタル罪其事務
ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタ

ル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

第百六十八條 第百六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ
人ヲ殺傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本刑ニ照

シ重キニ從テ處斷ス

第百六十九條 第百六十五條第百六十六條ノ
罪ヲ犯シ因テ瀛車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没

シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタ
ル時ハ死刑ニ處ス

第百七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サン
トシテ未ダ遂ケタル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照

シテ處斷ス

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

第百七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル

邸宅又ハ八人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ左ニ記載シタル所為アル時ハ一等ヲ加

一 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入りタル時

三 暴行ヲ為シテ入りタル時
四 二人以上ニテ入りタル時

第一百七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ八人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル如重ス可キ所為アル時ハ一等ヲ加フ

第一百七十三條 故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ山陵内ニ入りタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪
第一百七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

第一百七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第百七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルコトヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第百七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラルル可キ者身躰ヲ毀傷シテ疾病ヲ作為シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上

一年以下ノ重禁錮ニ處シ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其姓名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

第百七十九條 醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スル丁ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ

處ス

第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

第四章 一般ノ信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第百八十二條 內國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
若シ變造シテ其價額量目ヲ増減シ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

ル者ハ輕懲役ニ處ス

第百八十三條 內國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス
若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ內外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第百八十五條 內國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス
若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年

以下ノ重禁錮ニ處ス

第一百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者二等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ著手セサル者ハ各三等ヲ減ス

第一百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス若シ職工ノ補助ヲ為シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

第一百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知

テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第一百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

第一百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ取受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス

第一百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第一百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自

刑罰部 監査局

首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス
若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者夫タ行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第百九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降ス丁ヲ得ス

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第百九十四條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
第百九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽

印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百九十六條 產物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百九十七條 御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第百九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界

紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百二條 詔書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第二百五條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ

又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ如フ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百節 私印私書ヲ偽造スル罪
第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ印影ヲ盜用シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百九條 為替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若クハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其手形証書ニ詐偽ノ裏書ヲ為シテ行使シタル者亦同シ

第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關スル證書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使

シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處
シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サ
ニトシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ
照シテ處斷ス

第二百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕
罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監
視ニ付ス

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽
造スル罪

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行
使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ
處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但

官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印
ノ各本條ニ照シテ處斷ス

第二百十四條 屬籍身分姓名ヲ詐稱シ其他詐
偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十
五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上

二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ
一等ヲ加フ

第二百十五條 公務ヲ免カレ可キ為メ醫師ノ
姓名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタ
ル者ハ自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ
分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三
圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十六條 陸海軍ノ徴兵ヲ免カレ可キ為
疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ
囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師
ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増
減變換シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同
シ

第六節 偽證ノ罪

第二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判
所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル為メ
事實ヲ掩蔽シテ故サラニ偽證ヲ為シタル時

ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

一 重罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ二月
以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二 輕罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ一月
以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三 違警罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ違
警罪ノ本條ニ依テ處斷ス

第二百十九條 偽證ノ為メ被告人適當ノ刑ヲ
免カレタル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ
各一等ヲ加フ

第二百二十條 被告人ヲ陷害スル為メ故サラニ

偽證ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス
一重罪ニ陷ラシムル為メ偽證シタル者ハ二
年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上
五十圓以下ノ罰金ヲ付加ス
二輕罪ニ陷ラシムル為メ偽證シタル者ハ六
月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以
上四十圓以下ノ罰金ヲ付加ス
三違警罪ニ陷ラシムル為メ偽證シタル者ハ
一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以
上十圓以下ノ罰金ヲ付加ス
第二百二十一條 偽證ノ為メ被告人刑ニ處セラ
レタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽
證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記

載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ
照シテ處斷ス
其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經
過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルコ
ト得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スコト得ス
第二百二十二條 偽證ノ為メ被告人死刑ニ處セ
ラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑
ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス
若シ被告人ヲ死ニ陷ルノ目的ヲ以テ偽證ヲ
為シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行
セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス
第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シ
テ偽證ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ

刑罰法草案審判部

重禁銅ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百二十四條 鑒定又ハ通辯ノ為メ裁判所

ニ呼出サレタル者詐偽ノ陳述ヲ為シタル時ハ前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ

囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑒定通辯ヲ為サシメタル者ハ亦偽證ノ例ニ同シ

第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シ

テ其定規ヲ増減シ之ヲ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁銅ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽

造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量

衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

第二百二十九條 商賈工匠定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁銅ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐

期取財ヲ以テ論ス

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分姓名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ僭用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ為サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 詢書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報

告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル
時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓
以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章 一般ノ健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ニ關スル罪

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ
又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ
輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ
輕懲役ニ處ス

第二百三十九條 税関官吏情ヲ知テ阿片烟及
ヒ其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑
ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル為ノ房屋
ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦
同シ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二
年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所
有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下
ノ重禁錮ニ處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚
穢シ因テ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメ
タル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處

シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第二百四十六條 傳染病豫防ノ為メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ

罰金ニ處ス

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スルヲ知テ割セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物

品製造ノ規則ニ關スル罪

第二百五十條

官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十一條

官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第二百五十二條

前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第五節

健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥

劑ヲ販賣スル罪

第二百五十三條

人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十四條

規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十五條

前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六節

私ニ醫業ヲ為ス罪

第二百五十六條

官許ヲ得スシテ醫業ヲ為シ

夕ル者ハ十一月以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ
又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤
リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ
各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六章

風俗ヲ害スル罪

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ為シタル
者ハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二
圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他
猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者
ハ十一月以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓
以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又
ハ博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下
ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

第二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為
シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處
シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情
ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物
ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス
賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收
ス

第二百六十二條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利
益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以

上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所為アル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ一月以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

第二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二

圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

第二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物及ヒ膏油薪炭ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百六十八條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者ハ二十日以上四月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

第二百七十條 農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル為メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ為シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル為メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ為シタル者ハ亦前條ニ同シ

第二百七十二條 虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節

官吏公益ヲ害スル罪

第二百七十三條

官吏故意ヲ以テ其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セズ又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十四條

兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ故サラニ其處分ヲ為サハル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十五條

官吏規則ニ違背シテ商業ヲ為シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ

處ス

第二節

官吏人民ニ對スル罪

第二百七十六條

官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其為ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十七條

人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ檢事警察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ為サハル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十八條

逮捕官吏法律ニ定メタル程

刑部省 法律局

式規則ヲ遵守セスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第二百七十九條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百八十條 前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刺ノ所為ヲ施シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス 因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ殴打創傷ノ

各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス 第二百八十一條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監

禁ヲ解ク丁ヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ 殴打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ

第二百八十二條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被 告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル為ノ暴行ヲ

加ヘ又ハ陵虐ノ所為アル者ハ四月以上四 年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス 因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ殴打創傷

ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷

ス

第二百八十三條 裁判官檢事故ナクシテ刑事ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其民事ノ訴ニ係ル者亦同シ

第二百八十四條 官吏ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ不正ノ處分ヲ為シタル時ハ一等ヲ加ノ

第二百八十五條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ不正ノ裁判ヲ為シタル時ハ一等ヲ加フ

第二百八十六條 裁判官檢事警察官吏及ヒ參座刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ被告ノ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨ

刑罰法 卷之四 裁判官 第四百一十條

リ重キ時ハ第百二十一條第百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

第百八十七條

裁判官 檢事 警察官吏及ヒ參坐賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ狹サニ故サラニ被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第百八十八條

前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徵ス

第三節

官吏財産ニ對スル罪

第百八十九條

官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ輕懲役ニ處ス
因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シ

タル時ハ第百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

第百九十條

租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏故リラニ正數外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五

第百九十一條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

川
書
卷
第
一
冊

川
書
卷
第
一
冊

刑法修正案

第三編
第四編

刑法草案審查局

刑法草案審查局

第三編 身軀財産ニ對スル重罪輕罪

第一章 身軀ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二百九十二條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ死刑ニ處ス

第二百九十三條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト為シ無期徒刑ニ處ス

第二百九十五條 支解折割其他慘刺ノ所為ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人

ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘

導シテ危害ニ陥レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ

以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ

殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二百九十九條 人ヲ殴打創傷シ因テ死ニ致

シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百條 人ヲ殴打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳

ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ断テ陰陽ヲ

毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ

致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其

他身軀ヲ殘虧シ廢疾ニ致シタル者ハ二年以

上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百一條 人ヲ殴打創傷シ二十日以上ノ時

間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ営ムヲ能ハサルニ

至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁

錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身軀ニ創傷ヲ成シ

タル者ハ十一年以上一月以下ノ重禁錮ニ處

ス

第三百二條 豫メ謀テ人ヲ殴打創傷シ休業廢

ス

ス

篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ニ記載シタル刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第三百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人ヲ毆

打創傷シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ
第三百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

第三百五條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ

輕重ヲ知ルヲ能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

第三百六條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

第三百七條 健康ヲ害ス可キ物岳ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ例ニ照シテ處断ス

第三百八條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ヲ以テ論ス

第三節 殺傷ニ関スル宥恕及ヒ不論罪

第三百九條 自己ノ身軀ニ暴行ヲ受ルニ因リ直チニ怒ヲ發シ其人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ招

刑罰法

キタル者ハ此限ニ在ラス
第三百十條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下ス
ノ先後ノ知ルヲ能ハサル者ハ各其罪ヲ宥怒
スルヲ得

第三百十一條 本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所
ニ於テ直ニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者
ハ其罪ヲ宥怒ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタ
ル者ハ此限ニ在ラス

第三百十二條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸
宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セント
スル者ヲ防止スル為メ之ヲ殺傷シタル者ハ
其罪ヲ宥怒ス

第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥怒ス可

キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第三百十四條 身軀生命ヲ正當ニ防衛シ已ム
トテ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ
自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ分タス
其罪ヲ論セス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行
ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ已ムトテ得サ
ルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス
一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ為ス者ヲ防止
スルニ出タル時

二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タ
ル時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若

ノハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止ス
ルニ出タル時

第三百十六條 身軀財産ヲ防衛スルニ出ルト
雖モ己ムトヲ得サルニ非シテ害ヲ暴行人
ニ加ヘ又ハ危害己ニ去リタル後ニ於テ勢ニ
乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪
ノ限ニ在ラス但情状ニ因リ第三百十三條ノ
例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルトヲ得

第四節 過失殺傷ノ罪

第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守
セズ過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二月
以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上
百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ廢篤疾
ニ致シタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮
ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處
ス

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休
業ニ至ラシメタル者ハ十一日以上二月以下
ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス

第五節 自殺ニ関スル罪

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ
囑託ヲ受ケテ自殺人ノ為メニ手ヲ下シタル
者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓
以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ

刑罰法審判局

補助ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シ
テ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百二十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ
監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁
ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打
拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所
為ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁
錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス

第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾
病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ

照シ重キニ從テ處断ス

第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ
際其監禁ヲ解クテヲ怠リ因テ死傷ニ致シタ
ル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人
ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル
者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓
以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財
産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル

者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二
圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯
シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以
テ脅迫シタル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ

第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫
ヲ受ケタル者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪
ヲ論ス

第八節 墮胎ノ罪

第三百三十條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ
以テ墮胎シタル者ハ一月以上六月以下ノ重
禁錮ニ處ス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎
セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死
ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮
ニ處ス

第三百三十二條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪
ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑
騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以
下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆
打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル
者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其故
サラニ墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲

役ニ處ス

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ廢篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第九節

幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス
自ラ生活スルヲ能ハサル老疾者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百三十七條

八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寡聞無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十八條

給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ

保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百三十九條

幼者尅疾者ヲ遺棄シ因テ廢疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百四十條

自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ知テ之ヲ扶助セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルヲ知テ扶助セス又ハ申告セサル者亦同シ

第十節

幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナルヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト為シ又ハ其他ノ名

稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ為シタル時ハ告訴ノ効ナシ

第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ為シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル

刑部省 法律部 審判局

者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯乱セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス
第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯スニ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス但強姦ニ因テ癱篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

者亦同シ

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス若シ本夫先ニ其姦通ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ効ナシ

第三百五十四條 配偶者アル者重子ヲ替娼ヲ為シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百二十條ニ記載シタル偽誣ノ例ニ照シテ處断ス

第三百五十六條 誣告ヲ為スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル

時ハ本刑ヲ免ス

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百二十一條第二百二十二條ニ記載シタル例ニ照シテ處断ス

第三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハズ左ノ例ニ照シテ處断ス

一公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二書類画圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

第三百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ故サ
ラニ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照
シテ處断スルヲ得ス

第三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言人代書
人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ
受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ故サラニ
漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上
三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以
下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ
事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

第三百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪
ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪

ヲ論ス

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故
殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ関スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ
加フ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シ毆
打創傷ノ罪其他監禁脅迫遺棄誣告誹毀ノ罪
ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ
刑ニ照シ二等ヲ加フ但廢疾ニ致シタル者ハ
有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒
刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣

食ヲ供給セズ其他必要ナル奉養ヲ致キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フル
トヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在ラス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮

ニ處ス

第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百六十九條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百七十條 兇器ヲ携帯シテ人ヲ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物ト

シテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜葉其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人生養シ若クハ營業ニ関シタル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十七條 夫婦祖父母父母^{夫妻}子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス

若シ他人其共犯ト為テ財物ヲ分テタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第二節 強盜ノ罪

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘ
テ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト為シ輕
懲役ニ處ス

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル情狀ア
ル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ
一二人以上共ニ犯シタル時
二兇器ヲ携帶シテ犯シタル時

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク
為メ臨時暴行脅迫ヲ為シタル者ハ強盜ヲ以

テ論ス

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシ
メテ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論
シ輕懲役ニ處ス

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上
二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 遺失物理藏物ニ関スル罪

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得
テ隱匿シ所有主ニ還付セズ又ハ官署ニ申告
セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ
處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏

ノ物品ヲ掘得テ隠匿シタル者ハ亦前條ニ同
シ
第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
タル者ハ三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係
ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 家資分散ニ関スル罪

第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿
脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二
月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス
情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒込
ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條 家資分散ノ際賂薄ノ類ヲ藏
匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人

又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害
シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處
ス

第五節 詐欺取財及ヒ受寄財物ニ関ス
ル罪

第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物
若クハ證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ
罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ
四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタ
ル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷
ス

第三百九十一條

如者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯乱シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十二條

物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若シクハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十三條

他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十四條

自己ノ不動産ト雖モ己ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隱シテ他人ニ賣與シ又ハ重子テ抵當典物ト爲シタル者亦同シ

第三百九十五條

前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十六條

受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百九十七條

若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所為アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十八條

自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際此罪ヲ犯シタル者ハ第三百八十八條ノ例ニ照シテ處断ス

第三百九十九條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ

刑罰法

刑罰法

照シテ處断ス

第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節 贓物ニ関スル罪

第三百九十九條 強竊盜ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ為シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ関シタル物件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ

若クハ牙保ヲ為シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居ヤサル家屋其他ノ建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放シ人ヲ乘載シタル船舶車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乗載セサル船舶瀛車ニ係ル時ハ重懲
役ニ處ス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥

又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬
シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタ
ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處ス
ル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬
シタル者ハ十一月以上二月以下ノ輕禁錮ニ

處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤

氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ
毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分
テ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節 決水ノ罪

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞

シテ人ノ住居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ
無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂
失シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ

田畝礦坑収場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ
處ス

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ

便益ヲ圖ル為メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ
其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以
下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰
金ヲ附加ス

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者
ハ失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第四百十五條 衝突其他ノ所為ヲ以テ故サラ
ニ人ヲ乘載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死
刑ニ處シ但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處
ス

第四百十六條 前條ノ所為ヲ以テ人ヲ乘載セ
サル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物
ヲ害スル罪

第四百十七條 故意ヲ以テ人ノ家屋其他ノ建
造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ
重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各
本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第四百十八條 故意ヲ以テ人ノ家屋ニ屬スル
牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田畝ノ樊園牧場ノ
柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下
ノ重禁錮ニ處シ又ゾ二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス

第四百十九條 故意ヲ以テ人ノ稼穡竹木其他
需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一日以上六
月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓
以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十條 故意ヲ以テ土地ノ経界ヲ表シ
タル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ一月
以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十
圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十一條 故意ヲ以テ人ノ器物ヲ毀棄
シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處
シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
第四百二十二條 故意ヲ以テ人ノ牛馬ヲ殺シ
タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ

二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第四百二十三條 故意ヲ以テ前條ニ記載シタ
ル以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二圓以上二十
圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ
其罪ヲ論ス

第四百二十四條 故意ヲ以テ人ノ權利義務ニ
関スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以
上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓
以下ノ罰金ヲ附加ス

第四編 違警罪

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三

日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上

一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

一規則ヲ遵守セシテ火藥其他破裂ス可キ

物品ヲ市街ニ運搬シタル者

二規則ヲ遵守セシテ火藥其他破裂ス可キ

物品又ハ自ラ火ヲ發スヘキ物品ヲ貯藏シ

タル者

三官許ヲ得シテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シ

タル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火

器ヲ玩ヒタル者

五 蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ
掃除スル規則ニ違背シタル者

六 官署ノ修繕ヲ為サ、ル者
牆壁ノ修理ヲ為サ、ル者

七 官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者
八 自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ

申告セス又ハ他所ニ移シタル者
九 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

十 密ニ賣淫ヲ為シ又ハ其媒合容止ヲ為シタ
ル者

十一 人ノ住居セサル家屋内ニ潛伏シタル者
十二 定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナク

シテ諸方ニ徘徊スル者

十三 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル為ノ偽證シタ
ル者但被告人偽證ノ為メ刑ヲ免カレタル

時ハ第二百十九條ノ例ニ從フ
第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三

日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以
上一圓五十錢以下ノ料料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火
ヲ焚ク者

二 水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スヘキ
ノ未メテ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者

三 不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣
シタル者

四健康ヲ保護スル為メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ違背シタル者
五人ノ通行スヘキ場所ニアル危険ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ為サ、ル者
六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ啖シ又ハ驚逸セシメタル者
七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者
八狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者
九變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者
十墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者

十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

十二公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第四百二十七條

左ノ諸行ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ料料ニ處ス

一濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

二制止ヲ肯セシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ留キタル者

三夜中無提燈ニテ車馬ヲ疾驅スル者
四木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又

ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者

五瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

六禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者

七汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

八警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ為シタル者

九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者

十死亡ノ申告ヲ為サスミテ埋葬シタル者

十一流言浮説ヲ為シテ人ヲ誑惑シタル者

十二妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ為シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

十三私有地外ハ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者

十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場等ヲ毀損シタル者

十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ料ニ處ス

一官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者

二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者
三渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者
四路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ為シタル者
五官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背シタル者
六溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケ溝渠下水ヲ浚ハサル者
七制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者
八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放子又ハ

牧畜シタル者

九身躰ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者
十他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者
十一他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者
第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス
一橋梁又ハ堤防ノ害ト為ルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者
二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ為シタル者
三車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ為シタル者

四水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通航ノ妨害ヲ為シタル者

五氷雪塵埃等ヲ路上ニ投棄シタル者

六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ為サ、ル者

七制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲ為シ行人ノ妨害ヲ為シタル者

八牛馬ヲ牽キ又ハ繫クテ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

十通行禁止ノ標示ヲ犯シテ通行シタル者

十一道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯

セサル者

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉卧シタル者

十三路上ノ常燈ヲ消シタル者

十四人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者

十五邸宅ノ番号標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ標標等ヲ毀損シタル者

十六他人ノ田野園圃ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ折採シタル者

十七公園ノ規則ヲ犯シタル者

十八通路チキ他人ノ田畝ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

第四百三十條 前數條ニ記載スルノ外各地方

ノ便宜ニヨリ定ムル處ノ違敬言罪ヲ犯シタ
ル者ハ其罰則ニ從テ處断ス

刑部
律
考
卷
第
一
十
一
條

刑部
律
考
卷
第
一
十
一
條

